

2024 年 12 月 25 日

新型 BMW M5 ツーリング誕生

日本市場初: BMW M5 ツーリングの導入

車両本体価格を BMW M5（セダン・モデル）と同価格に設定

高性能 V8 エンジン+電動モーターを搭載した M 専用プラグイン・ハイブリッド・システム「M HYBRID システム」を採用しシステム・トータル 535kW / 1,000Nm を発揮するパワーでサーキット走行を可能とするダイナミックなパフォーマンスを実現

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: 長谷川正敏）は、プレミアム・ミドル・セグメントにおけるツーリング・モデル「BMW 5 シリーズ ツーリング」のラインアップに、ハイ・パフォーマンス・プレミアム・ミドル・セグメント・ツーリング「新型 BMW M5（エムファイブ）ツーリング（全面改良）」を追加し、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。納車は、2025 年第一四半期以降を、予定している。

ハイ・パフォーマンス車両を手掛ける BMW M 社が開発した BMW M5 ツーリングは、ハイ・パフォーマンス・プレミアム・ミドル・セグメント・セダン「BMW M5」をベースに、荷室容量を増やしたステーション・ワゴン・タイプのモデルであり、先進のデジタル技術、高い安心、安全性、快適な機能を提供し、ビジネス・シーンのみならず、スポーツやレジャーといったあらゆるシーンにおいて、すべての望みを多彩な才能で実現するモデルである。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
クリーン・ディーゼル・エンジンおよび 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載モデル	
BMW 523d Touring xDrive Exclusive*	8,900,000 円
BMW 523d Touring xDrive M Sport*	9,600,000 円
電気自動車	
BMW i5 Touring eDrive40 Excellence*	10,400,000 円
BMW i5 Touring eDrive40 M Sport*	10,400,000 円
BMW i5 Touring M60 xDrive*	16,000,000 円
高効率ガソリン・エンジンおよびプラグイン・ハイブリッド・システム搭載モデル	
BMW M5 Touring	19,980,000 円

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。
- *は、以前に発表済みのモデルとなります。

BMW M5 ツーリングは、過去に第 3 世代、第 5 世代の BMW M5 にツーリング・モデルが設定されているが、

両モデルとも日本での正規輸入販売は行なっておらず、今回発表の新型 BMW M5 ツーリングが、日本での正規輸入販売モデルとして初となる。

BMW M 社が開発する高性能マシン M モデルには、2 つのカテゴリーがある。1 つはレーシング・カーの技術を採用し市販車でありながらサーキットでの本格的な走行を可能とした M ハイ・パフォーマンス・モデル、もう 1 つは公道における高いスポーツ走行性能とプレミアム・カーとしての快適性の両方を妥協なく高めた M パフォーマンス・モデルであり、新型 BMW M5 ツーリングは、M ハイ・パフォーマンス・モデルに位置付けられる。

新型 BMW M5 ツーリングは、4.4L の V 型 8 気筒 M ツインパワー・ターボ・エンジンに、M 専用プラグイン・ハイブリッド・システムである M HYBRID システムを搭載し、さらに、M 専用 4 輪駆動システム「M xDrive」を搭載するなど、サーキット走行における最高の運動性能と、プレミアム・セグメントにおけるラグジュアリー・スポーツ・ツーリングとしての優れた安全性および快適性の要素を合わせ持つ、唯一無二のモデルである。そして、デザインと走行性能の両面において一目で M モデルであると実感出来る力強さを持ち、M モデルの象徴的な存在となっている。

新型 BMW M5 ツーリングは、他の BMW 5 シリーズ同様に、日本においては、BMW 社が初めて国土交通省からの認可を取得した、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能なドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システム「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」の搭載等、最先端の運転支援システムに加え、最新世代のコネクティビティも有し、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay への対応、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、利便性が大幅に高められたモデルである。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。なお、新型 BMW M5 ツーリングは、ドイツのディンゴルフィング工場において、生産が行なわれる。

デザイン

新しいデザイン言語により、新型 BMW M5 ツーリングは、スポーティさに加え、M モデルらしい、更なる存在感を強調している。

フロント・デザインは、M 専用エアロ・バンパーやガーニッシュ、夜間走行時に BMW ブランドの象徴である造形を印象的にライトアップする BMW アイコニック・グローを備えた M 専用ブラック・キドニー・グリル、BMW 5 シリーズ ツーリングより 75mm ワイドなフロント・フェンダーが特徴的である。

リア・デザインにおいては、M リア・スポイラー、M 専用リア・バンパーには専用デザインのディヒューザーが施され、M スポーツ・エキゾースト・システム、BMW 5 シリーズ ツーリングより 48mm ワイドなリア・フェンダーと相まって、精悍な佇まいを表現している。

インテリアにおいては、BMW 特有の駆けぬける歓びを感じられ、長距離走行においては、高次元の快適性を提供するデザイン・エレメントが採用されている。広々としたスペース、随所に取り入れられたモダンな機能、高次元のオーディオ性能、高品質で精密に加工された素材、素晴らしい完成度、高度なデジタル・サービスがインテリアの雰囲気の特徴づけている。

新型 BMW M5 ツーリングの運転席は、先代モデルに比べてボタン類が大幅に削減され、無駄を省いた洗練さ

れた印象を与えている。BMW カーブド・ディスプレイは、最新の 12.3 インチのインフォメーション・ディスプレイと 14.9 インチのコントロール・ディスプレイで構成されている。インストルメント・パネル中央からドア・トリムを立体的なクリスタル面が貫く BMW インタラクション・バーを標準装備し、M カラーのアンビエント・ライティングをはじめ、ドライバーの好みの走行モードに応じて室内空間をアーティステックに演出する。M モデル専用の M マルチ・ファンクション・シート、M 専用装備品を随所に採用することにより、室内においても、M モデルであることを主張している。

多様なライフスタイルに対応する実用的なラゲッジ・ルーム

新型 BMW M5 ツーリングには、様々なニーズに対応可能な、多才で機能的、かつ、広々としたラゲッジ・ルームを採用している。ラゲッジ・ルーム容量は 500L を実現し、リヤ・シートのバックレストを倒せば最大で 1,700L まで拡張することが可能である。40:20:40 分割可倒式リヤ・シート、リヤ・シートを完全に折りたたんだ状態でも荷室が使用でき、かつ、前席乗員の安全が確保されるラゲージ・パーティション・ネットが標準で装備される。

パワートレイン

新型 BMW M5 ツーリングは、最高出力 585PS (430kW) /5,600-6,500rpm、最大トルク 750Nm /1,800-5,400rpm を発揮する高効率なモーター・スポーツ・テクノロジー直結のクロスバンク型を持つ 4.4L V型 8 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンを搭載し、さらに、第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーを採用した電池容量 22.1kWh を持つ、197PS (145kW) を発揮する電気モーターを搭載する M 専用プラグイン・ハイブリッド・システム「M HYBRID システム」を搭載している。

クロスバンク型のツイン・ターボ・エンジンは、1/1,000 秒を争う、サーキット走行直結の技術の 1 つであり、ツイン・スクロール・ターボ 2 機を、向かい合うシリンダーの排気管を取って跨いで配置することで、ターボに排気のパワーが、遅れずに干渉することなく理想的な間隔で加わるため、鋭いレスポンスとスムーズな力強い加速を実現する事が可能である。

新型 BMW M5 ツーリングには、BMW M モデル専用開発された 8 速 M ステップトロニック・トランスミッションのハウジングに電気モーターを組み込み、BMW グループが特許を取得したプリ・ギアリングにより、電気モーターが発生するトルクを高性能 6 気筒ツイン・ターボ・エンジン相当の 450Nm まで増強させる事が可能となり、システム・トータルの最高出力 727PS (535kW)、最大トルク 1,000Nm を発揮することで、電気自動車を除き、BMW M5 および BMW XM Label 同様に BMW 史上最強のパワー・ユニットを搭載するモデルの 1 つである。電気のみでの走行も可能であり、約 70km まで、ゼロ・エミッションでの走行が可能である。

全ての数値は、欧州仕様値となります。

ドライビング・ダイナミクス

ダイナミックな走行性能、あらゆる運転状況における抜群の安定性、高精度なハンドリング性能、優れた乗り心地、世界最高のドライビング・ダイナミクスの実現を目指し、ロング・ホイールベース、フロント・アクスルとリア・アクスルのトレッド幅の拡大、バランスの取れた約 50:50 の前後重量配分、インテリジェントな軽量構造、ボディとシャシーの接続剛性の向上等に加え、新型 BMW M5 ツーリングには、様々な M モデル専用の最先端シャシー・テクノロジーを採用している。センシングと同時に最短時間で直接制御されるホイール・スリップ・テクノロジー、統合ブレーキ・システム、可変ステアリング・レシオを備えたスポーツ・ステアリング、アダプティブ M サスペンション、アクティブ M デイファレンシャル、4 輪操舵を可能と

するインテグレートッド・アクティブ・ステアリングを標準装備し、サーキットにおける本格的かつダイナミックな走行性能と、快適な乗り心地とを極めて高い次元で両立することで、サーキット走行においても、通常走行においても、新時代の「駆けぬける喜び」を実現している。

4 輪駆動システム M xDrive

高性能エンジンのパワーは、M モデル専用 4 輪駆動システム M xDrive を介して路面に伝達される。M xDrive は、インテリジェント 4 輪駆動システム BMW xDrive とアクティブ M デイファレンシャルをベースとして、M モデル専用に開発された制御システム「ドライビング・ダイナミクス・コントロール」によって制御されている。さらに、車両の安定走行をサポートする DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）が装備されており、日常の安定した走行から、サーキットでのアクティブな走行まで多様な楽しさを提供する。基本設定は「DSC オン・4WD モード」で、M モデル特有の俊敏性を十分に発揮する。M ダイナミック・モード（MDM、4WD Sport）では、リア・アクスルへの駆動トルク配分が増加し、リヤ・ホイールのスリップ許容量が大きくなることで、より多様なハンドリングを楽しむことが可能になる。さらに、DSC オフ時に選択可能な後輪駆動「2WD モード」では、クルマの挙動を制限する制御システムの介入を断ち、熟練したドライバー自らが車両を操作する喜びをダイレクトに味わうことが可能になっている。

走行状況に応じてカスタマイズ可能なドライブロジック付きの新型 8 速トランスミッション

新型 BMW M5 ツーリングのスポーツ走行をサポートするのが、ドライブロジック付き新型 8 速 M ステップトロニック・トランスミッションである。ドライバーは、ドライブロジック選択スイッチによって、シフト特性を 3 段階から選択し、状況に応じた最適なギヤ比設定とレスポンスが得られ、思い通りの走りを体験することが可能となる。「モード 1」は効率的な走りをサポートし、「モード 2」ではシフト時間を短縮し、俊敏な走りを実現する。さらに、「モード 3」はシフト時間を最大限短縮するため、マニュアル・シフトに慣れたドライバーであれば、複数のギヤを飛び越えたシフト・ダウンも可能で、急カーブの手前などで一気に 1 速ギヤまで落とすなど、サーキットでのスポーティでアグレッシブな走りに適した設定となっている。また、「モード 3」では、エンジンがリミットに達したときの強制シフト・アップも行わないため、最大限自由に車両を操作することが可能になる。

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路^{*1}での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能^{*2}となる。

*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

*2: SAE International（Society of Automotive Engineers）が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」、完全自動駐車が可能となる「パーキング・アシスト・プロフェッショナル」を標準装備

高性能カメラ&レーダー、および高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウ

オーニング（車線逸脱警告システム）、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

標準装備となるパーキング・アシスト・プロフェッショナルには、時速 35km 以下で車両が直前に前進したルート最大 200m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト・プロフェッショナル機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

さらに、新型 BMW M5 ツーリングには、駐車時に、ステアリング、アクセル、ブレーキ操作が一切不要な「パーキング・サポート・プロフェッショナル」が、標準装備となる。自宅駐車場、勤務先駐車場を車両に登録しておくことで、駐車スペースが近づくと、車両が自動で検知し、検知後は、完全自動駐車が可能となる。駐車場所の記録は最大 10 カ所の登録が可能であり、最大 200m までの駐車操作（合計 600m まで）を記録できる為、狭いスペースで複雑な切り替えしが必要な場合でも正確に再現することが可能である。

また、駐車スペースの幅が狭い場合はドライバーが下車し、車外よりスマートフォンでコントロールすることができる「リモート・パーキング」機能によりスマートかつ快適に駐車操作を行うことも可能である。

車両全方向に対応した BMW ドライブ・レコーダー

新型 BMW M5 ツーリングには、車載カメラを使用した全方向(前後&左右)記録可能な BMW ドライブ・レコーダーを標準装備している。後付けのドライブ・レコーダーと異なり、車両後方の映像もウィンドー越しではなく直接撮影するので、あおり運転等の危険運転車両と遭遇した際に、車両のナンバーも鮮明に記録すると同時に、サイドのカメラで幅寄せの映像記録にも対応する。また、前方カメラを使ってドライビング中に前方の美しい景色を記録することも可能である。

車両の異常をスマートフォンに知らせるアラーム・システム

車両の盗難や車上荒らし等の被害を事前に防止するアラーム・システムを標準装備している。車両がロック中に異常を検知した場合、登録されているスマートフォンに通知を行うと同時に、車両周辺および車両室内の映像もスマートフォン上で確認することが可能である。

最新の BMW iDrive および BMW オペレーティング・システム 8.5

進化した BMW カーブド・ディスプレイと「QuickSelect」機能を備えた制御システムも、新型 BMW 5 シリーズの特徴の 1 つである。BMW オペレーティング・システム 8.5 をベースにしており、運転席側に機能アイコンを縦に並べた再設計されたホーム画面を備えている。「QuickSelect」機能により、サブ・メニューに切り替えることなく機能に直接アクセスできるため、メニュー構造が大幅に改良され、操作しやすくしている。新しい BMW iDrive は、BMW カーブド・ディスプレイおよび BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントとも組み合わせられ、一貫して、タッチ・ディスプレイと言語で操作できるように設計されている。

さらに、最新の BMW オペレーティング・システム 8.5 により、新型 BMW M5 においては、AirConsole プラットフォームを用いた革新的な車内ゲームの使用*を可能にしている。ドライバーと同乗者は、車両が停止している際、スマートフォンをコントローラーとして、14.9 インチのセンター・ディスプレイを使用しての対戦型ゲームをプレイすることが可能である。

*: パーソナル eSIM または BMW Bluetooth SIM カードリーダーを使用した 5G データ通信でのみ利用可能です。パーソナル eSIM での接続には株式会社 NTT ドコモの「ワンナンバーサービス」対象料金プランへの契約が必要です。BMW Bluetooth SIM カードリーダーを使用する場合は、別途データ通信用 SIM カードの契約が必要です。

コネクティビティ

コネクティビティにおいても優位性は高く、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay や Spotify への対応、BMW コネクテッド・ドライブ標準装備により、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、大きな利便性がある。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

BMW Intelligent Personal Assistant（インテリジェント・パーソナル・アシスタント）

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW（オーケー・ビー・エム・ダブリュー）」だけでなく、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

3 年間の主要メンテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス

3 年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016 年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

充実した標準装備と戦略的な価格設定

日本仕様において、独自に、高品質、高機能装備を標準装着とした上で、車両本体価格を先代モデルの BMW M5（セダン）と同様、かつ、本年発表の新型 BMW M5（セダン）と同価格 19,980,000 円の戦略的な価格にて販売する。高品質面では、BMW Individual レザー・メリノ・シートやアルカンターラ・ヘッドライナーに加え、最高の音響空間を提供する Bowers & Wilkins ダイアモンド・サラウンド・サウンド・システムを標準装備している。高機能面では、アクティブ・シート・ベンチレーション（前席）や 4 ゾーン・エアコンディショニングを標準装備し、スポーティな M モデルながらも、BMW ラグジュアリー・モデルに相応しい快適性を提供する。

主な車両諸元

- BMW M5 ツーリング
全長 5,096mm、全幅 1,970mm、全高 1,516mm、ホイールベース 3,006mm、排気量 4,395cc、
V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 585PS (430kW) /5,600-6,500rpm、最大トルク
750Nm/1,800-5,400rpm、電気モーター出力 197PS (145kW)、電気モーター・トルク 280Nm、シ
ステム・トータル最高出力 727PS (535kW)、システム・トータル最大トルク 1,000Nm

全ての数値は、欧州仕様値となります。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクショントラックセンター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>